



# 燦さんらん 爛

## 今年も楽しく Let's skiing! 1, 2年生スキー学習開始

後期後半がスタートして2週間が経ちました。先週は降雪が多かったですが、今週は一転して穏やかな天候の日が続いています。

そんな冬期間ならではの学習として、本校ではスキー学習を行っています。冬の保健体育科の学習では重要な位置を占めるスキー学習ですが、本校では大曲ファミリースキー場を利用して年3回のスキー学習を行うことにしており、1、2年生のスキー学習が今週から始まりました。

1回目のスキー学習は、22日(水)に行いました。午後の時間帯に実施するために早めの給食をすませて学校を出発。本校はファミリースキー場に極めて近いということもあり、全員徒歩での移動ですが、スキー板やブーツを抱えながらもみんな頑張っ歩いていました(移動の際は、用具を持たなくてもよいレンタルや見学の生徒がうらやましそでもありました)。



天候に恵まれたファミリースキー場



生徒たちは、各学年とも習熟度別に分かれ、大曲スキークラブや保護者ボランティアの皆様、本校職員から指導していただきながら学習を行いました。雪の少なかつた昨年と比べ、今年は積雪量も十分で、天候にも恵まれたこともあり、滑りやすいコンディションだったようで、生徒たちは2時間近い学習時間いっぱい気持ちよく滑りを楽しんでいました。

本校のスキー学習にご協力いただく大曲スキークラブの皆様、保護者ボランティアの皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。生徒たちが安全に楽しく学習できるよう、この後ご指導の程をよろしく願いたします。



## まず低く 大仙市シェイクアウト訓練に参加

頭を守り 動かない

1月24日(金)、「第11回大仙市シェイクアウト訓練」に本校も参加しました。大仙市の一斉シェイクアウト訓練は、前日23日(木)が本来の実施日でしたが、その日は3年生の実力テストと重なってしまったため、一日遅れの実施となりました。

シェイクアウト訓練は、一斉防災行動訓練とも呼ばれ、大地震が発生したという想定で、あらかじめ決めた時刻に、参加者が一斉に「まず低く」、「頭を守り」、「動かない」の「3つの行動」をとるというもので、短い時間でいざというときの安全行動を確認することができる訓練です。11月に行った予告なしの避難訓練とは違い、今回は前もってこの訓練のねらいや安全行動の仕方について確認した上で行ったこともあり、全員落ち着いて身を守る行動がとれていたようです。



1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から30年が経ちましたが、こうした過去の災害について生徒たちに知ってもらったり思い出してもらったりすることも避難訓練の意義であると思



います。災害時に適切な対応ができるようにすることだけでなく、こうした過去の出来事を風化させないためにも、定期的な訓練を継続していきたいと思

## 「プラスワン訓練」で発電機の操作を確認

大仙市のシェイクアウト訓練では、「プラスワン訓練」も行うことになっており、本校では昨年度より「冬期間の停電対応」をテーマに、発電機の動作確認と取り扱い方のミニ講習会を行っています。

本校は避難所に指定されているため発電機が設置されていますが、いざというときに正しく使用できるように、起動のさせ方や操作の仕方を職員間で確認しました。



## 2年生が次年度に向けてリハーサル 全国学力・学習状況調査 理科CBT事前検証

1月21日(火)に、来年度の全国学力・学習状況調査で実施される予定である、CBT方式による理科のサンプル問題に2年生が取り組みました。

今年4月に行われる令和7年度調査において、中学校理科の調査がCBT方式で行われること



不具合が見られる端末には先生方が支援

になっています。CBTとは、「Computer-based Testing:コンピュータ使用型調査」の略であり、一人一台端末を用いて行う調査です。動画を見て解答したり、キーボード入力やプルダウン選択、図の移動などにより解答したりするのですが、調査においてCBTを活用することにより、「①解答データを機械可読のビッグデータとして蓄積できる」「②ICT端末上で出題・解答することで、多様な方法・環境での出題・解答が可能になる」「③電子データにより問題・解答を配信・回収することで負担を軽減できる」といった意義があると言われていいます。



情報担当の先生が説明

この調査を円滑に実施するための事前準備として、サンプル問題に全員が取り組み、問題の閲覧、解答等を正常に行えるかなど、調査当日に近い環境でICT環境・端末操作の確認を行いました。いつも行っているPBT (Paper-based Testing: 冊子やプリントを用いた筆記方式の調査)とは違う方式だったため、初めはどのようにして解答するのか戸惑っている生徒も見られましたが、すぐに理解して、その後は集中して問題に取り組んでいたようです。一部の生徒は、接続に時間がかかるケースも見られましたが、そういった点は、調査当日の通信環境を整えることで改善したいと思います。

全国学力・学習状況調査においては、昨年度の「英語:話すこと」をオンライン録音方式で実施したほか、今年度の「生徒質問調査」をオンライン方式で行うなど、段階的にCBT化が進められており、令和9年度からは、小・中ともに全ての教科をCBT方式で行う予定になっています。今回の事前検証では、生徒だけでなく、学校側も行ってみて得られたフィードバックがたくさんありましたので、それらを基に、より良いテスト環境の整備を進めていきます。全国学力・学習状況調査の本番に向けて、引き続き準備を進め、生徒たちが安心してテストに臨めるよう努めてまいります。



タブレットでスイスイ解答



## 1月23日(木) 3年PTA合格祈願祭

3年生の保護者の皆様が、高校受験に向かう生徒たちのために、学校近くの北野神社で合格祈願祭を開いてくださいました。



北野神社の御祭神は「八意思兼神(やごころおもいかねのかみ)」という「知恵・思考・思慮」という概念を人格化した神様であり、「学業成就」などの御利益があるそうです。



宮司さんにお祓いをしていただいた生徒たちは、「お守り」と「紅白イチゴ」をいただきました。

